

白神トピックス

「米づくりの大変さがわかった」小学生が稲刈り体験 青年部

青年部二ツ井支部は食農教育の一環として、能代市立二ツ井小学校5年生の児童39人を対象に、10月17日、稲刈り体験学習を実施しました。

はじめに、JA職員が鎌の使い方や稲の刈り方を説明。その後、2人1組で稲を刈る役と脱穀機まで運ぶ役に分かれて作業を行いました。児童らは、たわわに実った稲を手際よく刈り取り、約5aの面積から「あきたこまち」を収穫しました。収穫作業後は「今はほとんどが機械で刈り取っていると思うが、昔のやり方を知ることができた」、「米づくりはとても大変だということがわかった」といった感想が聞かれました。



▲丁寧に稲穂を刈り取る児童



▲開会式の様子

上位入賞を目指し競い合う

JAバンクあきた

JAバンクあきたが主催する第5回グラウンドゴルフ大会が、10月17日に潟上市グラウンドゴルフ場で開催されました。

当JAからは、7月に大潟村で行われたグラウンドゴルフ大会の上位10名が参加し、県内各地区の年金友の会会員総勢184人が、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。当日は快晴でスポーツ日和となり、参加者は熱戦を繰り広げ長短さまざまなコースで次々とナイスショットを披露しました。大会では、二ツ井地区の淡路弘毅さんが8位入賞を果たしました。参加者はスポーツの秋、グラウンドゴルフを通じて親睦を深めました。

風の松原で健康づくり

生活課

JAあきた白神では健康寿命100歳プロジェクトの一環として、10月22日、風の松原でノルディックウォーキングを開催し、管内外から約20人が参加しました。

当日は、白神ノルディックウォーキング倶楽部会長の佐々木昇氏がウォーキング指導や風の松原の案内を行い、約5kmの道のりを歩きました。ノルディックウォーキングは普通のウォーキングとは違い、ポールを使用するので体全体を動かす運動になるだけでなく、膝などにかかる負担も軽減されるため参加者からは「体全体を使って歩いている感じがした。他の方とも話ができて、楽しく汗を流せました」といった声が聞かれました。



▲風の松原を歩く参加者



▲横断歩道の正しい渡り方をネイガーらと学びました

超神ネイガーによる交通安全教室を開催

共済課

JA共済連秋田が主催する超神ネイガー交通安全教室が、10月5日、認定こども園能代南幼稚園で開かれ、参加した園児約35人は秋田県のご当地ヒーローから正しい交通ルールを学びました。この交通安全教室は、JA共済連秋田と県内各JAが幼児の交通事故を防ごうと各地で開催しています。

教室では、①車道の近くで遊ばないこと・②車道を渡る際は横断歩道を利用すること・③渡る前に車が来ないか、必ず左右の確認をすることの3点について、ネイガーや交通ルルちゃんらがショーを交えて分かりやすく解説しました。最後は、全員で交通安全体操を踊り、会場は大いに盛り上がりました。